

エスロン 耐火プラADミニシステム WEB排水計算システムの操作説明書

【目次】

I 章 はじめに

1. 耐火プラADミニ WEB排水計算システムについて	1
2. 動作環境	1
3. 起動方法	1
4. 適用条件	2
5. 排水計算の手順	2

II 章 基本操作

1. 会員登録	3
2. ログイン	3
3. お客様情報の確認	3
4. 排水計算	3
・4-1. 物件情報の入力と適用条件の確認	4
・4-2. 排水計算	5
・4-3. 入力情報の確認と登録	9
・4-4. 結果出力	9

III 章 物件例1による排水負荷計算書の作成手順

物件例1の配管形態	10
1. 物件情報の入力と適用条件の確認	11
2. 排水計算	14
3. 入力情報の確認と登録	19
4. 結果出力	21

IV 章 その他 注意事項

1. 入力方法に関する注意事項	22
2. 用語解説	23
3. その他 注意事項	23



1. 耐火プラADミニWEB排水計算システムについて

①WEB排水計算システムでは、インターネットに接続したパソコンを使い、以下のことを行うことができます。

<当サイトでできること>

- ・ご検討いただく物件に、耐火プラADミニシステムが適用できるかの確認
- ・立て管、メイン横主管の管径計算
- ・脚部継手から最上階継手までの材料集計及び概算金額の算出



○:耐火プラADミニ



×:耐火プラAD 計算不可

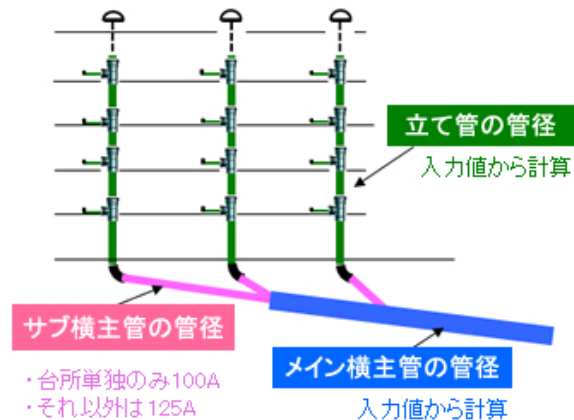


×:ADスリム 計算不可

管径計算について

接続される器具数等を入力していただくことにより、立て管とメイン横主管の管径を計算することができます。

また、サブ横主管の管径は、台所単独系統の場合は100A、それ以外の排水が接続される場合は125Aとなります。



②排水計算を行う前には、必ず「耐火VP配管システムカタログ」の設計マニュアルをご確認ください。
また、施工に関する内容については、別途カタログ等でご確認ください。

2. 動作環境

排水計算を行うためには、次のシステム環境が必要です。

- ・OS :Windows Vista 以上推奨
- ・対応ブラウザ :Microsoft Internet Explorer8 以上推奨

3. 起動方法

エスロンタイムズのホームページ :<http://www.eslontimes.com/> を開き、「耐火プラADミニ WEB排水計算システム」のリンクボタンから接続してください。

直接接続する場合のURL :<http://www.eslon-fsvp.com/>

※ご利用いただくには会員登録が必要となります。
初めてご利用される方は会員登録(無料)をお願いします

4. 適用条件

耐火プラADミニシステムは下記の適用条件を満たす場合にご使用いただくことができます。

耐火プラADミニシステムの適用条件(カタログより抜粋)

エスロン耐火プラADミニシステムが使用できる条件 ①～③を全て満たす場合に限りです。

①10階規模以下の集合住宅、ホテル客室
ただし、便器と雑排水が流入する立て管系統は7階規模以下であること。

※立て管への流入は1フロアあたり最大で台所、洗面、洗濯、浴槽、便器が各1台以内であること。

※最下階合流システムの場合は、上記条件の規模からそれぞれ1階ずつ低くなります。
(10階規模以下→9階規模以下、7階規模以下→6階規模以下)

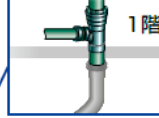
②立て管の途中にはオフセットがないこと。

③サブ横主管のオフセット高さは4m以下であること。

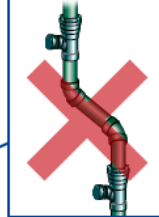
※脚部には必ずAD脚部継手をご使用ください。

①10階規模以下

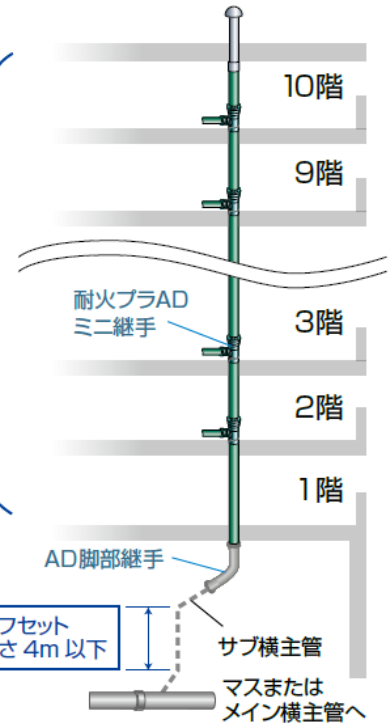
※最下階合流システムの場合は9階規模以下



②立て管
オフセットなし



③オフセット
高さ4m以下



5. 排水計算の手順

排水計算の手順を以下に示します。

1) 会員登録

当サイトをご利用いただくには会員登録が必要となります。初めてご利用される方は会員登録(無料) ↓ をお願いします。

2) ログイン

↓ ID、パスワードを入力してログインしてください。

3) お客様情報の確認

↓ お客様情報に変更がある場合には修正してください。

4) 排水計算

新規計算を行うか、以前の計算結果を修正するかをお選びください。

↓

4-1) 物件情報の入力と適用条件の確認

物件情報の入力、立て管の仕様の選択、適用条件の確認を行ってください。

※適用条件を全て満たさなければ「計算書作成」に進めません。

↓

4-2) 排水計算

排水計算を行う物件の図面をもとに、立て管に接続する器具数および、メイン横主管に接続される立て管番号を入力してください。

↓

4-3) 入力情報の確認と登録

入力内容に間違いがないかを確認し、登録してください。登録すると保存されます。

↓

4-4) 結果出力

登録した管径計算結果および材料集計表を出力することができます。

【Ⅱ章 基本操作】

この章では、WEB排水計算システムの計算手順を入力画面をもとにご説明いたします。
具体的な物件例での計算方法については、Ⅲ章をご参照ください。

1. 会員登録

(1) 当サイトをご利用いただくには
会員登録が必要となります。

初めてご利用される方は
会員登録をお願いします。

SEKISUI
耐火ブラADミニ WEB排水計算システム

当サイトの説明

当サイトではエスロン耐火ブラADミニシステムの排水計算を行うことができます。

当サイトをご利用いただくには会員登録が必要となります。初めてご利用される方は会員登録(無料)をお願いします。

(1) [申し込みページへ](#) → [ログインページ\(会員登録済みの方\)](#)

IDとパスワードが発行されます

2. ログイン

(1) ID、パスワードを入力して
ログインしてください。

ログイン画面

ログインID(メールアドレス)とパスワードを入力してください

ログインID: 入力

パスワード: 入力

(1)

[パスワードの書き換えはこちら](#)

※排水計算を行う前に、必ずWEB排水計算システムの操作説明書およびシステムの設計マニュアルをお読みください。

3. お客様情報の確認

(1) お客様情報に変更がある場合は、
修正してください。

(2) 変更がない場合はOK(排水計算へ)
をクリックしてください。

お客様情報

お客様情報

変更がある場合には、修正してください。 [お客様情報の修正](#) [OK\(排水計算へ\)](#)

会社名	
住所	
連絡先	
利用者名	
メールアドレス	

4. 排水計算

(1) 新規計算を行う場合は「新規計算」を
クリックしてください。

(2) 以前の計算結果を修正する場合は、
表中の「参照」をクリックしてください。

また、表中の「出力」をクリックすると、
計算結果を出力することができます。

排水計算

新規計算

新規計算を行う場合は「新規計算」をクリックしてください。 [新規計算](#)

計算結果一覧

以前の計算結果を修正する場合は、表の「参照」をクリックしてください。また、表の「出力」をクリックすると、計算結果を出力することができます。

日時/件名	システム	管径 計算結果	材料集計 表	入力値 参照
2018/04/18 11:07「201304180085_デモ 計算1」	通常システム	出力	出力	参照

(2)

～次ページから排水計算の新規作成方法をご説明いたします～

4. 排水計算(新規作成)

4-1. 物件情報の入力と適用条件の確認

排水計算を行う物件について、①～⑤の項目を入力し、⑥の「計算書作成」にお進みください。

(1) 物件情報の入力

①排水計算を行う物件の「物件名」、「所在地」、「連絡先」等を入力してください。

(2) 立て管の仕様の選定

②最下階合流システムが通常システムかをお選びください。

③立て管の種類をお選びください。

④立て管規模(階数)を入力してください。

(3) 適用条件の確認

⑤耐火プラADミニが適用できる物件かをご確認ください。(確認項目にチェックを入れてください)
※適用条件を全て満たさなければ、「計算書作成」に進めません。

(4) 計算開始

⑥全て入力後、「計算書作成」をクリックしてください。

The screenshot displays the '物件情報の入力と適用条件の確認' (Input of Object Information and Confirmation of Application Conditions) screen. It is divided into several sections:

- (1) 物件情報の入力 (Input of Object Information):** Fields for '物件名' (Object Name), '物件所在地' (Object Location), '連絡先' (Contact), '会社名' (Company Name), '管タイプ' (Pipe Type), '系統先' (System Line), and '購入希望の販売店' (Desired Retailer).
- (2) 立て管の仕様の選定 (Selection of Standpipe Specifications):** A dropdown menu for 'システム' (System) with options for '通常システム' (Standard System) and '最下階合流システム' (Bottom Floor Confluence System). Diagrams illustrate the difference between the two systems.
- (3) 立て管の種類 (Standpipe Type):** A dropdown menu for '立て管' (Standpipe) with options for '耐火VPパイプ' (Fire-resistant VP Pipe) and '耐火VPパイプ+耐火ADミニ継手' (Fire-resistant VP Pipe + Fire-resistant AD Mini Coupling).
- (4) 立て管規模 (Standpipe Scale):** A dropdown menu for '立て管規模' (Standpipe Scale) with options for '10階以下' (10 floors or below) and '10階以上' (More than 10 floors).
- (5) 適用条件の確認 (Confirmation of Application Conditions):** A list of checkboxes for conditions such as '10階規模以下の集合住宅、ホテル等' (Residential buildings, hotels, etc. with 10 floors or less), '窓で開口' (Openings with windows), 'サツシ施工' (Satsushi construction), and '最下階合流システムの排水は立て管に流れます' (Drainage of the bottom floor confluence system flows into the standpipe).
- (6) 計算書作成 (Create Calculation Sheet):** A large blue button at the bottom right of the screen.

4-2. 排水計算

排水計算を行う物件の図面をもとに、(1)～(3)の項目を入力し、(4)「入力情報確認」にお進みください。

※画面を下までスクロールして、全て入力してください。

スクロールして
入力

排水計算

■排水計算の流れ

Step1: 数値入力
・立て管に接続される器具数の入力
・メイン横主管に接続される立て管番号の入力、
立て管系統以外の排水の入力

Step2: 登録
(結果保存)

Step3: 結果出力
・管径計算結果
・材料集計表

順次、下までスクロールして入力してください

○立て管に接続される器具数の入力

管径計算を行う物件の系統図の立て管に番号を付けてください。
各立て管毎に接続される器具数を入力してください。

立て管 番号	接続される器具数(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップ シンク	手洗 トイレ
立1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

<設計ルール>

■原則、1本の立て管に接続可能な器具数は1フロアあたり最大で台所、洗面、洗濯、浴槽、便器の5器具が各1台以内です。
ただし、上記以外のパターンのでもご使用いただける場合がありますので、実際に計算画面で入力して、適用の可否をご確認ください。

※計算結果に「使用不可(設置オーバーです)」と表示された場合には
前次プラADミシシステムはご使用できません。
弊社の他のシステム(前次プラAD、ADスリム)でご検討ください。
詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。

○メイン横主管に接続される立て管番号の入力

排水計算を行う物件のメイン横主管に番号を付け、メイン横主管に接続される立て管番号を入力してください。

※立て管番号は10桁まで入力できます。メイン横主管に立て管が11本以上接続されている場合は、「メイン横主管番号の補助入力欄」を使ってメイン横主管の接続状況を入力してください。

メイン 横主管 番号	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄				
	横1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

■ 立て管に接続される器具数の入力

■ メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される横管はこちら

○メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合

メイン横主管に、立て管系統以外の排水が接続される場合のみ、入力が必要です。(地下階住戸の排水等)
各メイン横主管毎に、接続される器具数の総合計(台数)を入力してください。(先に入力した立て管系統の台数は除く)

※メイン横主管の管径を計算するため、メイン横主管に接続する全ての排水気流を必ず入力してください。

メイン 横主管 番号	メイン横主管に接続される、立て管系統以外の器具数の総合計(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシ ンク	トイレ手洗 い
横1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

■ 立て管に接続される器具数の入力

■ メイン横主管に接続される立て管番号の入力

入力情報確認

戻る

(4)

次のページから、入力方法を詳しくご説明いたします。

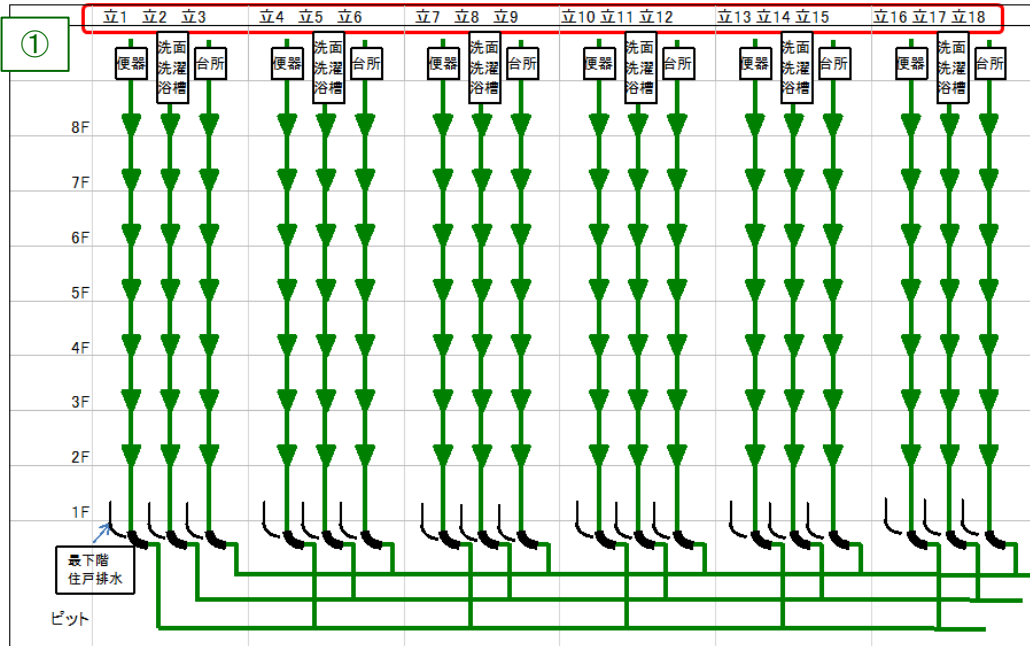
4-2. 排水計算

(1) 各立て管に接続する器具数の入力:

- ① 管径計算を行う物件の系統図の立て管に番号を付けてください。
- ② 番号を付けた立て管系統毎に、接続される器具数(台)を入力してください。

<系統図の番号例>

系統図の立て管に番号を付けてください。(立1、立2・・・立18)
 ※立て管番号は立50まで入力できます。



排水計算

■排水計算の流れ

Step1: 数値入力

- ・立て管に接続される器具数の入力
- ・メイン棟主管に接続される立て管番号の入力、立て管系統以外の排水の入力

Step2: 登録

(結果保存)

Step3: 結果出力

- ・管径計算結果
- ・材料集計表

順次、下までスクロールして入力してください

○立て管に接続される器具数の入力

管径計算を行う物件の系統図の立て管に番号を付けてください。
 各立て管毎に接続される器具数を入力してください。

[系統図の番号例](#)

[メイン棟主管に接続される立て管番号の入力](#)

立て管番号	接続される器具数(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ
立1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
立5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

<設計ルール>

■原則、1本の立て管に接続可能な器具数は1フロアあたり最大で台所、洗面、洗濯、浴槽、便器の5器具が各1台以内です。
 ただし、上記以外のパターンでもご利用いただける場合がありますので、実際に計算画面で入力して、適用の可否をご確認ください。

※計算結果に「使用不可(流量オーバー)」と表示された場合には
 耐火ブラADミニシステムはご利用できません。
 弊社の他のシステム(耐火ブラAD、ADスリム)をご検討ください。
 詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。

4-2. 排水計算

(2)メイン横主管に接続される立て管番号の入力:

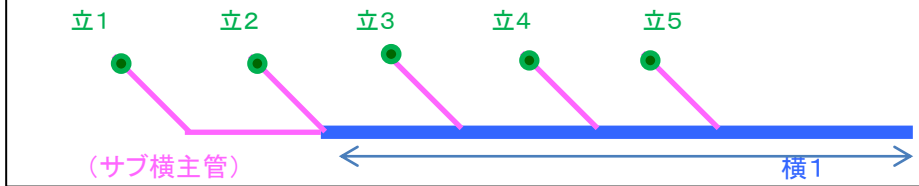
排水計算を行う物件のメイン横主管に番号を付け、メイン横主管に接続される立て管番号を入力してください。

※立て管番号は10本まで入力できます。メイン横主管に立て管が11本以上接続される場合は、「メイン横主管番号の補助入力欄」を使い、メイン横主管の接続状況を入力してください。

※メイン横主管に接続するもの全てを必ず入力してください。不足すると、間違った管径が算出されます。

●10本以下の立て管がメイン横主管に接続される場合

例1: 立て管5本が接続する場合

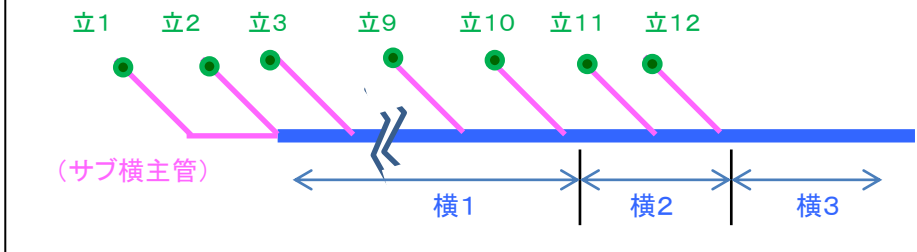


① メイン横主管(横1)に、接続される立て管番号(立1~立5)を入力してください。

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄				
横1	立 1	立 2	立 3	立 4	立 5	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横
横2	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横

●11本以上の立て管がメイン横主管に接続される場合

例2: 立て管12本が接続する場合



① メイン横主管に接続される立て管番号を複数行に分けて入力してください。

- ・横1に立1~立10の10本分を入力します。
- ・横2には立11と立12の2本分を入力します。

※横2は立11と立12のみが接続された横主管として仮に設定します。

② 「メイン横主管番号の補助入力欄」を使い、横1と横2が横3に接続するように入力してください。

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄				
横1	立 1	立 2	立 3	立 4	立 5	立 6	立 7	立 8	立 9	立 10	立	横	横	横	横
横2	立 11	立 12	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横
横3	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横 1	横 2	横	横
横4	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横

上記は横1と横2が横3に接続する状況を示しています

4-2. 排水計算

(3)メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合:

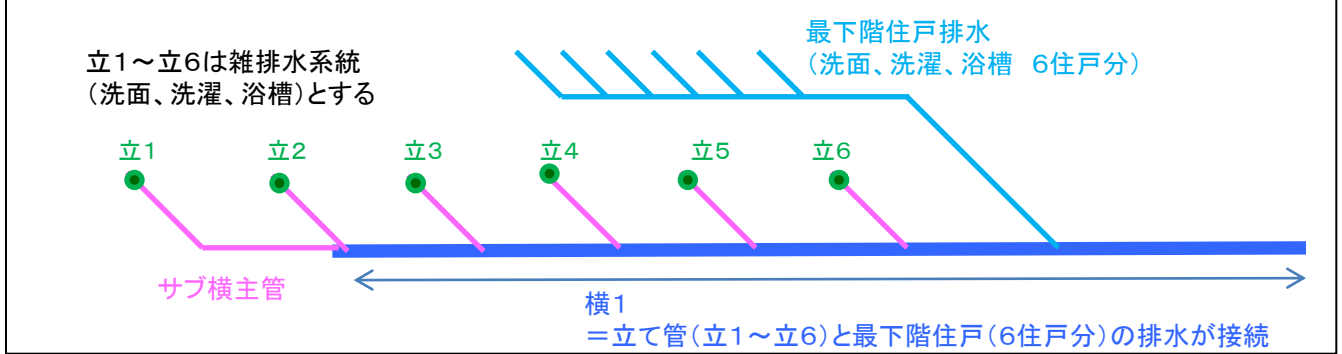
メイン横主管に、立て管系統以外の排水が接続される場合のみ、入力が必要です。(最下階住戸の排水等)

各メイン横主管毎に、接続される器具数の総合計(台数)を入力してください。
(先に入力した立て管系統の台数は除きます)

※メイン横主管の管径を計算するため、メイン横主管に接続する全ての器具数を必ず入力してください。

●メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合の入力例】

例1:雑排水系統の立て管(立1~立6)と最下階住戸排水が、メイン横主管(横1)に接続される場合



- ① WEB入力画面の中央付近の「メイン横主管に接続される立て管番号の入力」表を使い、メイン横主管(横1)に、接続される立て管番号(立1~立6)を入力してください。

○メイン横主管に接続される立て管番号の入力

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号								メイン横主管番号の補助入力欄		
横1	立 1	立 2	立 3	立 4	立 5	立 6	立	立	横	横	横
横2	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横

- ②WEB入力画面の下付近の「メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合」のみ入力する表を使い、メイン横主管(横1)に、接続される器具数の総合計(洗面、洗濯、浴槽の各6台)を入力してください。
※先に入力した立て管系統の台数は除きます。

○メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される、立て管系統以外の器具数の総合計(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	トイレ手洗い
横1	台	6 台	6 台	6 台	台	台	台
横2	台	台	台	台	台	台	台

(4)入力情報の確認:

- ①入力完了後、「入力情報確認」をクリックしてください。
②メモ欄は使用した図面番号等の控えとしてご活用ください。

メモ入力 ②

入力情報確認 ①

戻る

※ 使用した図面番号の控え等にご活用ください。

4-3. 入力情報の確認と登録

(1)入力内容に間違いがないかを確認し、「登録」をクリックしてください。登録すると保存されます。
 ※計算結果に「使用不可(流量オーバーです)」と表示された場合には、耐火プラADミニシステムは使用できませんので、弊社の他のシステム(耐火プラAD、ADスリム)でご検討ください。
 詳しくは弊社営業所までお問い合わせください。

入力情報の確認

下記情報に間違いがなければ「登録」ボタンを押してください。

物件名	1	所在地	1
連絡先(電話番号)		購入希望の販売店	
立て管規模	8階	システム	通常システム
立て管	耐火VPパイプ+耐火プラADミニ継手		

※計算結果に「使用不可(流量オーバーです)」と表示された場合には、耐火プラADミニシステムは使用できませんので、弊社の他のシステム(耐火プラAD、ADスリム)でご検討ください。詳しくは弊社営業所までお問い合わせください。

○立て管入力欄

立て管番号	接続される器具数(台)							立て管	サブ横主管
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ	管径	管径

※FS:耐火VPパイプ

○メイン横主管入力欄

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号	メイン横主管に接続されるメイン横主管番号	管径
----------	-------------------	----------------------	----

○メイン横主管に接続される立て管系統以外の排水

メイン横主管番号	接続される器具数(台)								
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ		

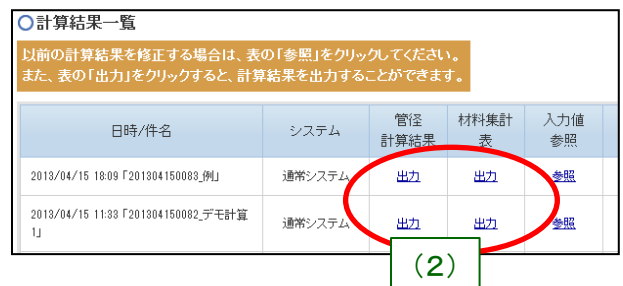
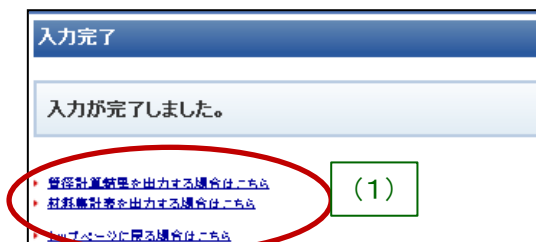
メモ:

(1)
登録
戻る

※登録後は修正ができません。修正する場合は、新規に計算書を作成するか、作成済みの計算書を再度編集する必要があります。

4-4. 結果出力

(1)登録した管径計算結果および材料集計表を出力することができます。
 (2)トップページに戻り、「計算結果一覧」から出力することもできます。



～排水計算の基本操作法の説明は以上です。

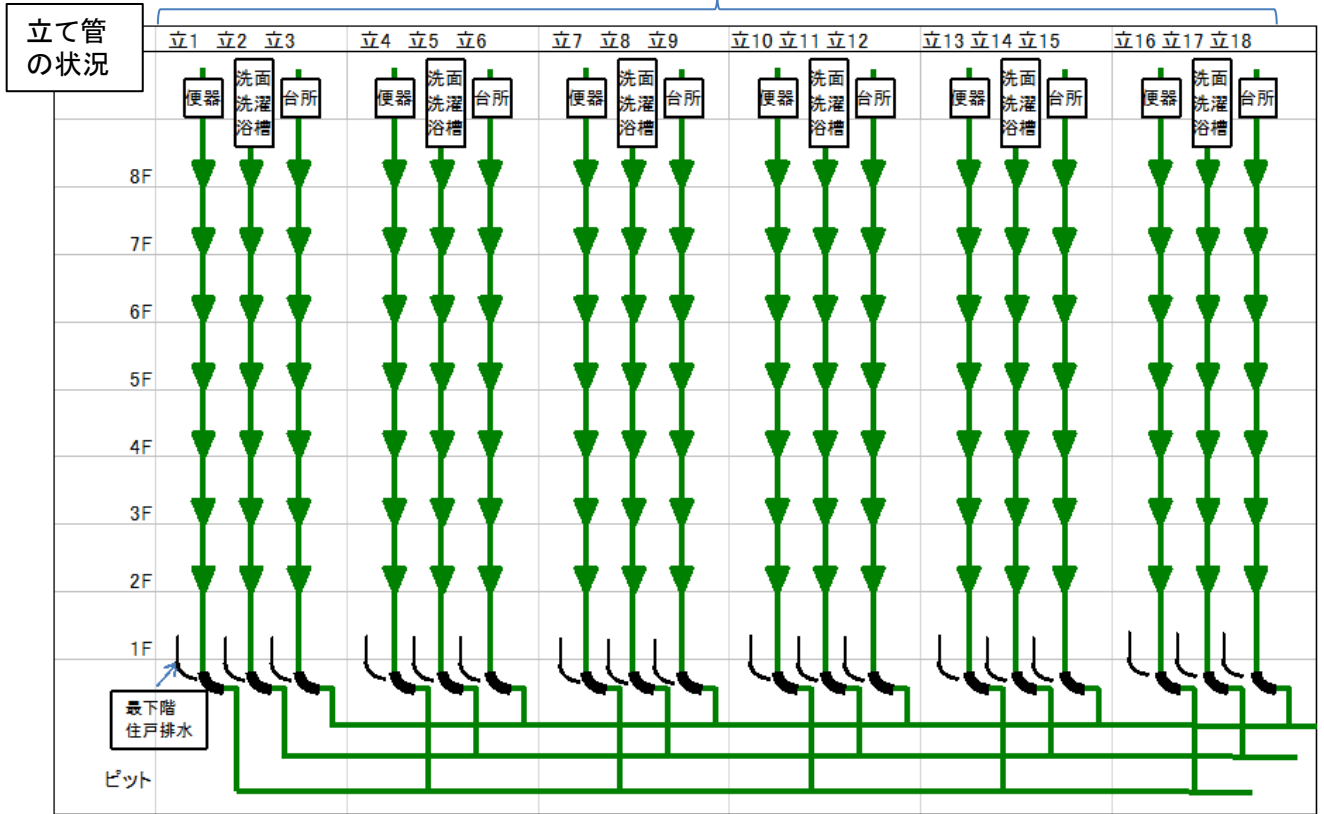
次のページから、物件例をもとに、排水計算の操作手順を詳しくご説明いたします～

【Ⅲ章 物件例1による排水計算の手順】

＜物件例1の配管形態＞

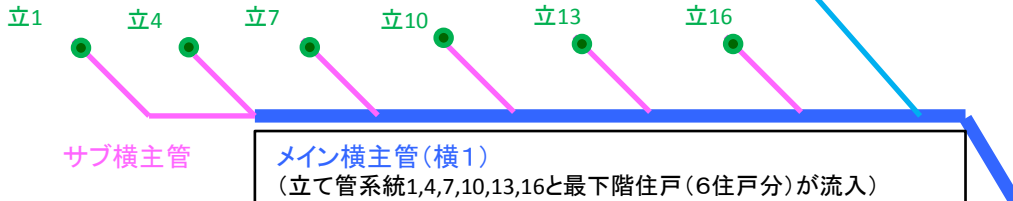
:通常システム(最下階住戸排水は単独(立て管に合流しない))、8階規模、1住戸に3本の立て管が設置。

立て管の系統番号は立1～立18

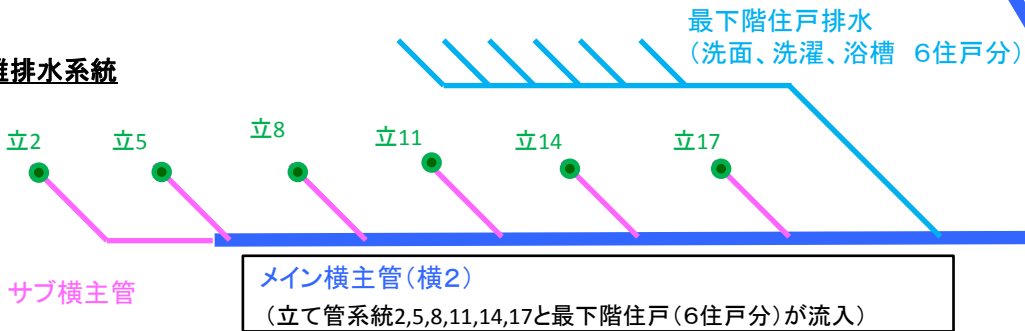


メイン横主管の接続状況

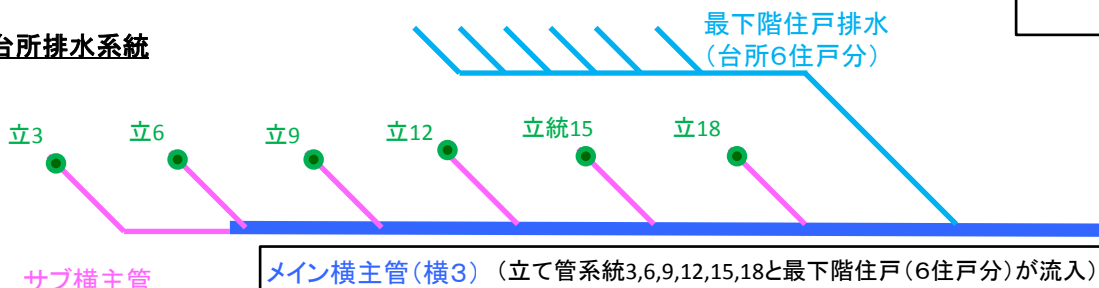
汚水系統



雑排水系統



台所排水系統



※メイン横主管とサブ横主管の違いはP18をご参照ください

メイン横主管(横4)
(横1+横2)

【Ⅲ章 物件例1による排水計算の手順】

以下のいずれかを選択して入力画面に進んでください。

○新規計算を行う場合：

(1)「新規計算」をクリックしてください。

○新規計算

新規計算を行う場合は「新規計算」をクリックしてください。 ▶ **新規計算**

(1)クリックして進む

○以前の計算結果を修正する場合：

(1)修正したい物件の「参照」をクリックしてください。

○計算結果一覧

以前の計算結果を修正する場合は、表の「参照」をクリックしてください。また、表の「出力」をクリックすると、計算結果を出力することができます。

日時/件名	システム	管径 計算結果	材料集計 表	入力値 参照
2013/04/15 11:33 「201304150082_デモ計算1」	通常システム	出力	出力	参照

(1)クリックして進む

1. 物件情報の入力と適用条件の確認

入力画面全体を以下に示します。(1)～(5)に入力していただきます。

The screenshot shows a software interface for inputting property information and selecting system conditions. Five specific areas are highlighted with red circles and numbered callouts:

- (1) Property name input field.
- (2) System selection dropdown menu.
- (3) Selection of pipe diameter and material.
- (4) Selection of pipe material.
- (5) Selection of applicable conditions.

A large text box in the center-right of the screenshot reads: **入力方法詳細は次ページ参照** (Refer to the next page for input method details).

On the right side, there are diagrams for '通常システム' (Normal System) and '最下階合流システム' (Bottom Floor Combined System). Below these are diagrams for '耐火VPパイプ+耐火P3ADミニ継手' (Fire-resistant VP pipe + fire-resistant P3AD mini-joint).

At the bottom right, there is a detailed diagram of a drainage system with numbered callouts (1) through (5) corresponding to the input steps.

※以前の計算結果を修正する場合の注意点：

入力画面には以前の値が入力されていますので、必ず、入力値を確認・変更してください。

～次ページから入力方法を詳しくご説明いたします～

【Ⅲ章 物件例1による排水計算の手順】

(1) 物件情報を入力してください。(物件名、所在地、連絡先等)

(1)物件情報	物件名 ※ 必須	〇〇 新築工事	(1)	
	物件所在地 ※ 必須	東京都〇〇区〇〇	会社名	利用者名
	連絡先(電話番号)	03-〇〇	購入希望の販売店	〇〇

(2) 最下階合流システムか通常システムかをお選びください。

システム (2)

最下階住戸の排水が立て管に流入しない場合(最下階排水が単独の場合)は「通常システム」をお選びください。

最下階住戸の排水が立て管に流入する場合は「最下階合流システム」をお選びください。

※最下階合流システムは従来システムと比べてシンプルな配管が可能です。
(設計・施工の省力化、コストダウン)

通常システム (最下階住戸排水は単独)

最下階合流システム

or

選べるシステム

～次ページに続く～

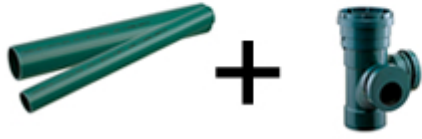
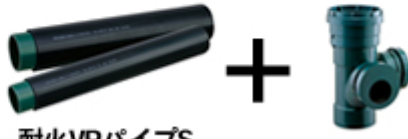
【Ⅲ章 物件例1による排水計算の手順】

～前ページからの続き～

(3) 立て管の仕様をお選びください

立て管 耐火VPパイプ+耐火プラADミニ継手 (3)

立て管の種類をお選びください。
※耐火VPパイプSは耐火二層管と同程度の保温性と遮音性があります。

耐火VPパイプ+耐火プラADミニ継手	耐火VPパイプS+耐火プラADミニ継手
	
耐火VPパイプ + 耐火プラADミニ継手	耐火VPパイプS (被覆カバー付き) + 耐火プラADミニ継手

(4) 立て管規模(階数)を入力してください

立て管規模 (4)

立て管規模をお選びください。
<立て管規模の入力例>

10階規模と入力

■立て管規模(階数)の数え方:
脚部継手直上の床を1階として
立て管の階数を数えてください。

脚部直上の床を1階

脚部継手

(例)

■1棟の建物で階数規模が異なる場合:
最大となる部分の立て管規模を入力してください。

9階規模

6階規模

9階規模と入力

(例)

(5) 耐火プラADミニシステムが適用できる物件かをご確認ください。(確認項目にチェックを入れてください。)

- (5)
- ①10F規模以下の集合住宅、ホテル客室等
 - ② 立て管の途中にはオフセットがないこと
 - ③ サブ横主管のオフセット 高さは4m以下であること
 - ④ 最下階系統の排水は立て管に合流せず、別系統であること

※ 上記全て選択しなければ、「計算書作成」に進めません。

(6) 全て入力後、「計算書作成」をクリックしてください。

計算書作成 (6)

キャンセル

2. 排水計算

入力画面全体を以下に示します。(1)～(3)に入力していただきます。

入力方法詳細は次ページ参照

排水計算

■排水計算の流れ

Step1: 数値入力
・立て管に接続される器具数の入力
 ・メイン横主管に接続される立て管番号の入力、
 立て管系統以外の排水の入力

Step2: 登録
(結果保存)

Step3: 結果出力
・管径計算結果
 ・材料集計表

順次、下までスクロールして入力してください

○立て管に接続される器具数の入力

管径計算を行う物件の系統団の立て管番号を付けてください。
 各立て管毎に接続される器具数を入力してください。

立て管番号	接続される器具数(台)							
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	洗濯シンク	手洗トイレ	
立1	合	合	合	合	合	合	合	合
立2	合	合	合	合	合	合	合	合
立3	合	合	合	合	合	合	合	合
立4	合	合	合	合	合	合	合	合
立5	合	合	合	合	合	合	合	合
立6	合	合	合	合	合	合	合	合

<設計ルール>

■原則、1本の立て管に接続可能な器具数は1フロアあたり最大で台所、洗面、洗濯、浴槽、便器の5器具が各1台以内です。
 ただし、上記以外のパターンでもご使用いただける場合がありますので、実際に計算画面で入力し、適用の可否をご確認ください。

■使用不可(脱量オーバーです)と表示された場合には、このシステムはご使用できません。
 ※他のシステム(耐火ブラAD、ADスリム)をご検討ください。
 詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。

(1)各立て管に接続される器具数の入力欄:

○メイン横主管に接続される立て管番号の入力

排水計算を行う物件のメイン横主管に番号を付け、メイン横主管に接続される立て管番号を入力してください

※立て管番号は10未満で入力できます。メイン横主管に立て管が11本以上接続されている場合は、「メイン横主管番号の補助入力欄」を使ってメイン横主管の接続状況を入力してください。

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄				
	横1	横2	横3	横4	横5	横6	横7	横8	横9	横10	横	横	横	横	横
横1	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横2	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横3	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横4	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横5	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横6	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横

(2)メイン横主管に接続される立て管番号の入力欄:

○メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合

メイン横主管に、立て管系統以外の排水が接続される場合のみ、入力が必要です。(地下隣住戸の排水等)
 各メイン横主管毎に、接続される器具数の総計(台数)を入力してください。(先に入力した立て管系統の台数は除く)

※メイン横主管の管径を計算するため、メイン横主管に接続する全ての排水負荷を必ず入力してください。

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される、立て管系統以外の器具数の総計(台)							
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	洗濯シンク	トイレ手洗い	
横1	合	合	合	合	合	合	合	合
横2	合	合	合	合	合	合	合	合
横3	合	合	合	合	合	合	合	合
横4	合	合	合	合	合	合	合	合
横5	合	合	合	合	合	合	合	合
横6	合	合	合	合	合	合	合	合

(3)メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合の入力欄:

メモ入力

※使用した回数番号等の入力欄には使用できません。

～次ページから詳しくご説明いたします～

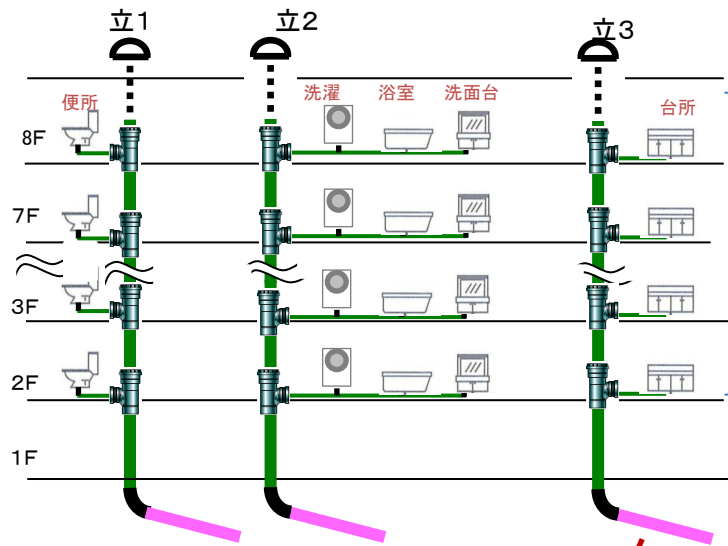
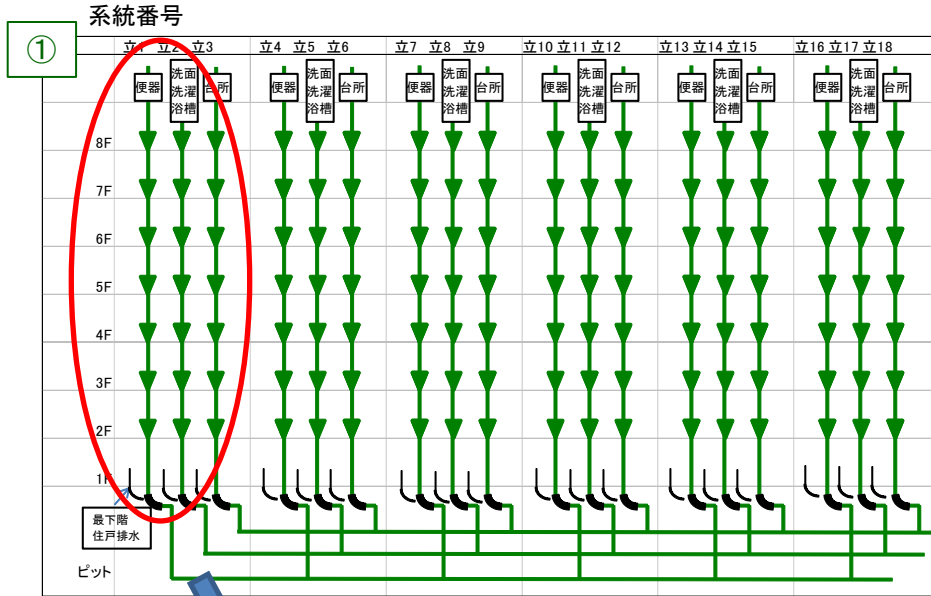
14

【Ⅲ章 物件例1による排水計算の手順】

(1) 立て管に接続される器具数の入力

(例) 立て管系統の立1に便器7台、立2に洗面・洗濯・浴槽が各7台、立3に台所が7台接続される場合

- ① 管径計算を行う物件の系統図の立て管に番号を付けてください。
- ② 番号を付けた立て管系統毎に、接続される器具数(台)を入力してください。



②

立て管番号	接続される器具数(台)					
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スリッパ
立1	7台					
立2		7台	7台	7台		
立3					7台	

- = 立1に便器7台が接続
- = 立2に浴槽・洗面・洗濯各7台が接続
- = 立3に台所7台が接続

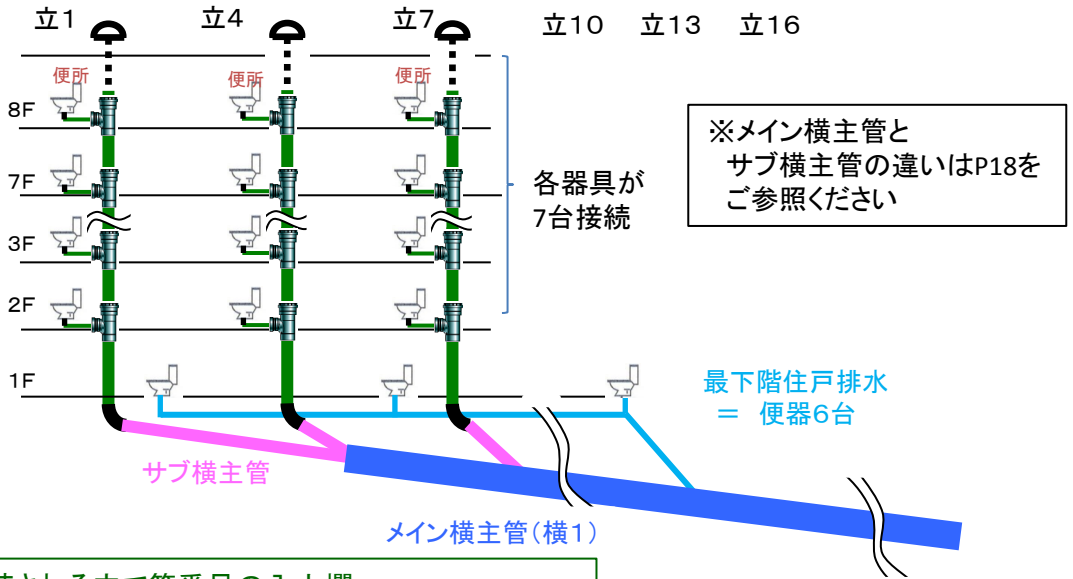
立4以降も上記同様に、接続される器具数の入力を行ってください。

【Ⅲ章 物件例1による排水計算の手順】

(2)メイン横主管に接続される立て管番号の入力

(3)メイン横主管に立て管以外の排水が接続される場合の入力

(例)汚水系統の立て管と汚水系統の最下階住戸排水6住戸分がメイン横主管(横1)に合流する場合



①メイン横主管に接続される立て管番号の入力欄:
メイン横主管(横1)に接続される立て管番号を入力してください。

○メイン横主管に接続される立て管番号の入力

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄							
	立	1	立	4	立	7	立	10	立	13	立	16	立	横	横	横	横	横
横1	立	1	立	4	立	7	立	10	立	13	立	16	立	横	横	横	横	横
横2	立		立		立		立		立		立		立	横	横	横	横	横

②メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合の入力欄:
各メイン横主管毎に、接続される器具数の総合計(台数)を入力してください。
(先に入力した立て管系統の台数は除きます)

メイン横主管に最下階住戸排水が接続しない場合は入力不要です。

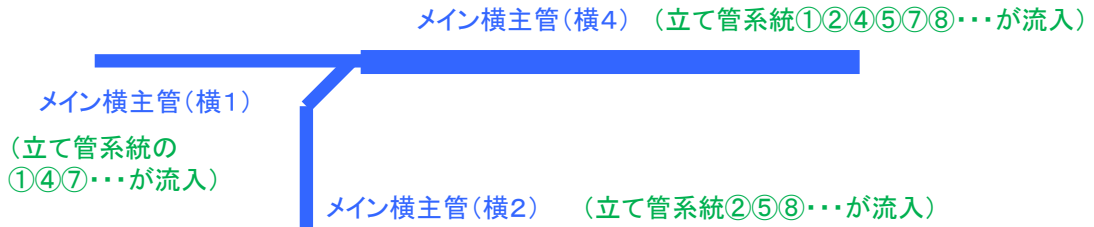
○メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される、立て管系統以外の器具数の総合計(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	トイレ手洗い
横1	6台	台	台	台	台	台	台
横2	2台	台	台	台	台	台	台
横3	台	台	台	台	台	台	台

横2以降も上記同様に、接続される立て管番号の入力および、立て管系統以外の排水の器具数の入力を行ってください。

複数のメイン横主管が合流する場合の入力方法

(例)メイン横主管(横1)とメイン横主管(横2)が合流して、メイン横主管(横4)となる場合



①メイン横主管番号の補助入力欄を使い、メイン横主管(横4)に接続するメイン横主管の番号(横1と横2)を入力してください。

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄										
横1	立	1	立	4	立	7	立	10	立	13	立	16	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横2	立	2	立	5	立	8	立	11	立	14	立	17	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横3	立	3	立	6	立	9	立	12	立	15	立	18	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横4	立		立		立		立		立		立		立	立	立	立	横	横	横	横	横

(4)入力完了後

- ①メモ欄は使用した図面番号などの記録等にご活用ください。
- ②入力完了後に、画面最下部の「入力情報確認」をクリックしてください。

メモ入力 ①

※使用した図面番号の控え等にご活用ください。

②クリックして入力状況確認に進む

～次ページに、物件例1を全て入力した時の画面を示します～

排水計算

物件例1を全て入力した画面

■排水計算の流れ

Step1: 数値入力

- ・立て管に接続される器具数の入力
- ・メイン横主管に接続される立て管番号の入力
- ・立て管系統以外の排水の入力

Step2: 登録

(結果保存)

Step3: 結果出力

- ・管径計算結果
- ・材料集計表

順次、下までスクロールして入力してください

○立て管に接続される器具数の入力

管径計算を行う物件の系統図の立て管に番号を付けてください。
各立て管毎に接続される器具数を入力してください。

🔍 [系統図の番号例](#)

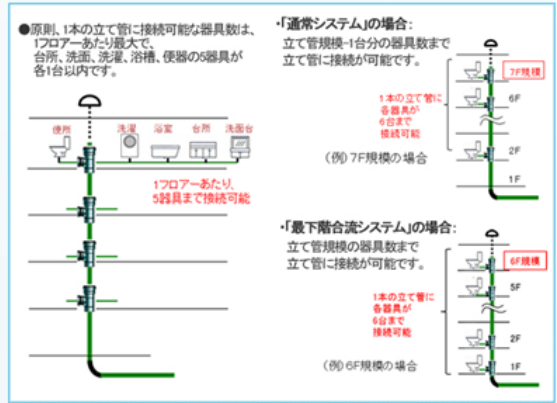
▶ [メイン横主管に接続される立て管番号の入力](#)

立て管番号	接続される器具数(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ
立1	7	合	合	合	合	合	合
立2	合	7	合	7	合	合	合
立3	合	合	合	合	7	合	合
立4	7	合	合	合	合	合	合
立5	合	7	合	7	合	合	合
立6	合	合	合	合	7	合	合
立7	7	合	合	合	合	合	合
立8	合	7	合	7	合	合	合
立9	合	合	合	合	7	合	合
立10	7	合	合	合	合	合	合
立11	合	7	合	7	合	合	合
立12	合	合	合	合	7	合	合
立13	7	合	合	合	合	合	合
立14	合	7	合	7	合	合	合
立15	合	合	合	合	7	合	合
立16	7	合	合	合	合	合	合
立17	合	7	合	7	合	合	合
立18	合	合	合	合	7	合	合

<設計ルール>

■原則、1本の立て管に接続可能な器具数は1フロアあたり最大で台所、洗面、洗濯、浴槽、便器の5器具が各1台以内です。
ただし、上記以外のパターンでもご利用いただける場合がありますので、実際に計算画面で入力して、適用の可否をご確認ください。

※計算結果に「使用不可(設置オーバーです)」と表示された場合には耐火ブラADミニシステムはご使用できません。
弊社の他のシステム(耐火ブラAD、ADスリム)でご検討ください。
詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。



○メイン横主管に接続される立て管番号の入力

排水計算を行う物件のメイン横主管に番号を付け、メイン横主管に接続される立て管番号を入力してください

▶ [立て管に接続される器具数の入力](#)

※立て管番号は10本まで入力できます。メイン横主管に立て管が11本以上接続されている場合は、「メイン横主管番号の補助入力欄」を使ってメイン横主管の接続状況を入力してください。

🔍 [入力例はこちら](#)

▶ [メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合はこちら](#)

メイン横主管器具	メイン横主管に接続される立て管番号										メイン横主管番号の補助入力欄				
	立1	立2	立3	立4	立5	立6	立7	立8	立9	立10	横1	横2	横3	横4	横5
横1	立1	立4	立7	立10	立13	立16	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横2	立2	立5	立8	立11	立14	立17	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横3	立3	立6	立9	立12	立15	立18	立	立	立	立	横	横	横	横	横
横4	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横1	横2	横	横	横
横5	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	横	横	横	横	横

○メイン横主管に立て管系統以外の排水が接続される場合

▶ [立て管に接続される器具数の入力](#) ▶ [メイン横主管に接続される立て管番号の入力](#)

メイン横主管に、立て管系統以外の排水が接続される場合のみ、入力が必要です。(最下階住戸の排水等) 各メイン横主管毎に、接続される器具数の総合計(台数)を入力してください。(先に入力した立て管系統の台数は除く)

🔍 [入力例はこちら](#)

※メイン横主管の管径を計算するため、メイン横主管に接続する全ての排水器具数を必ず入力してください。

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される、立て管系統以外の器具数の総合計(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	トイレ手洗い
横1	6	合	合	合	合	合	合
横2	合	6	合	6	合	合	合
横3	合	合	合	合	6	合	合
横4	合	合	合	合	合	合	合

メモ入力

入力情報確認

戻る

※使用した図面番号の控え等にご活用ください。

3. 入力情報の確認と登録

(1) 入力値に間違いがないかを確認し、登録ボタンをクリックしてください。

※計算結果で、「**使用不可(流量オーバーです)**」が表示された場合には、耐火プラADミニシステムは使用できませんので、弊社の他のシステム(耐火プラAD、ADスリム等)でご検討ください。
詳しくは、弊社営業所までお問い合わせください。

(2) 登録すると保存され、出力が可能となります

※登録後は修正ができません。

<使用不可が表示された例>

立て管番号	接続される器具数(台)							立て管		サブ横主管
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ	管径	管径	
立1	7							FS+耐火プラADミニ継手 100A	125A	
立2		7	7	7				FS+耐火プラADミニ継手 100A	125A	
立3					7			FS+耐火プラADミニ継手 75A	100A	
立4	9							使用不可(流量オーバーです)	使用不可	

(1) クリックして進む



物件例1の確認画面

(計算結果が表示されています)

入力情報の確認

下記情報に間違いがなければ「登録」ボタンを押してください。

物件名	例	所在地	例
連絡先(電話番号)		購入希望の販売店	
立て管規模	3階	システム	通常システム
立て管	耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手		

○立て管入力欄

立て管番号	接続される器具数(台)							立て管		サブ横主管
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ	管径	管径	
立1	7							FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立2		7	7	7				FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立3					7			FS+耐火ブラADミニ継手 75A	100A	
立4	7							FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立5		7	7	7				FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立6					7			FS+耐火ブラADミニ継手 75A	100A	
立7	7							FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立8		7	7	7				FS+耐火ブラADミニ継手 100	125A	
立9					7			FS+耐火ブラADミニ継手 75A	100A	
立10	7							FS+耐火ブラADミニ継手 100	125A	
立11		7	7	7				FS+耐火ブラADミニ継手 100	125A	
立12					7			FS+耐火ブラADミニ継手 75A	100A	
立13	7							FS+耐火ブラADミニ継手 100	125A	
立14		7	7	7				FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立15					7			FS+耐火ブラADミニ継手 75A	100A	
立16	7							FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立17		7	7	7				FS+耐火ブラADミニ継手 100A	125A	
立18					7			FS+耐火ブラADミニ継手 75A	100A	

※FS+耐火VPパイプ

立て管とサブ横主管の計算結果

○メイン横主管入力欄

メイン横主管番号	メイン横主管に接続される立て管番号						メイン横主管に接続されるメイン横主管番号		管径
	立1	立4	立7	立10	立13	立16	横1	横2	
横1	立1	立4	立7	立10	立13	立16			125A
横2	立2	立5	立8	立11	立14	立17			150A
横3	立3	立6	立9	立12	立15	立18			150A
横4							横1	横2	150A

メイン横主管の計算結果

○メイン横主管に接続される立て管系統以外の排水

メイン横主管番号	接続される器具数(台)						
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシンク	手洗トイレ
横1	6						
横2		6	6	6			
横3					6		

※: 使用した図面番号の控え等にご活用ください。

登録 戻る

※登録後は修正できません。修正する場合は、新たに計算書を作成するか、作成済みの計算書を再度編集する必要があります。



結果出力へ

4. 結果出力

- (1)登録した管径計算結果 および 材料集計表を出力することができます。
- (2)トップページに戻り、計算結果一覧から出力することも可能です。

(引き続き出力する場合)

(計算結果一覧から出力する場合)

入力完了

入力が完了しました。

(1) クリック

計算書出力する場合はこちら

材料集計表出力する場合はこちら

トップページに戻る場合はこちら

○計算結果一覧

以前の計算結果を修正する場合は、表の「参照」をクリックしてください。
また、表の「出力」をクリックすると、計算結果を出力することができます。

日時/件名	システム	管径 計算結果	材料集計 表	入力値 参照	メモ
2013/04/15 18:09 「201304150083_例」	通常システム	出力	出力	参照	
2013/04/15 11:33 「201304150082_デモ計算」	通常システム	出力	出力	参照	

(2) 出力をクリック

●管径計算結果の出力例

管径計算書

WEB出力

201304150083_例

耐火ブラADミニ WEB排水計算システム
管径計算結果

〔耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手〕

2013年4月16日

積水化学工業株式会社

●材料集計表の出力例

管径計算書

WEB出力

201304150083_例

材料集計表

〔耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手〕

2013年4月16日

積水化学工業株式会社

1. 耐火ブラADミニ継手の管径計算条件について

耐火ブラADミニ継手の管径計算は、下記条件に従って行っています。

- 10F規模以下の集合住宅、ホテル客室等
- 立て管の途中にはオフセットがないこと。
- サブ継手管のオフセット高さは4m以下であること。

※なお、本計算書はお客様の入力情報をもとに計算していますので、実現場で配管等が異なる場合は、これを修正する必要があります。

2. 立て管及びサブ継手管の決定

管径計算はSHASE-S2061定常流量法を用いて行っています。
また、スロウシンクとトイレ兼いびSSDS 002(管管式排水システム適合)の「住宅排水設備の負荷算定」を用いています。

当物件における立て管の管径・継手およびサブ継手管の管径は表-1の通りになります。

【流入階数】 表-1. 管径計算結果

階数	接続される設備数(台)				立て管	サブ継手管
	洗面	浴槽	洗濯	トイレ		
201	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
202	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
203	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 75A 100A	管径 75A
204	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
205	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
206	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 75A 100A	管径 75A
207	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
208	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
209	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 75A 100A	管径 75A
210	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
211	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
212	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 75A 100A	管径 75A
213	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
214	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
215	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 75A 100A	管径 75A
216	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
217	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 100A 125A	管径 100A
218	7	7	7	7	FS + 耐火ブラADミニ継手 75A 100A	管径 75A

※耐火VPパイプ + 耐火ブラADミニ継手 + AD継手管で構成されています。

※計算結果が「使用不可(注番号あり)」と表示された場合には、耐火ブラADミニシステムは使用できませんので、弊社の他のシステム(耐火ブラAD、ADスリム)でご検討ください。詳しくは弊社営業所までお問い合わせください。

例

〔耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手〕

品名	品番	単位	積上	仕様	数量	単価(円)	金額(円)
耐火VPパイプ(FS-VPI-B-2000)	75A	100A	75A		7,000	62円	¥294,000
耐火VPパイプ(FS-VPI-B-2000)	100A	100A	100A		10,000	84円	¥840,000
耐火VPパイプ(FS-VPI-SI-2000)	75A	100A	75A		90,000	90円	¥8,100,000
耐火VPパイプ(FS-VPI-SI-2000)	100A	100A	100A		914,100	90円	¥82,269,000
計							¥91,303,000
耐火ブラADミニ継手	75A	100A	継手(2分)		4,500	420円	¥1,890,000
耐火ブラADミニ継手	100A	100A	継手(2分)		4,500	420円	¥1,890,000
AD継手管	75A	100A	75x100		660	660円	¥435,600
AD継手管	75A	100A	75x125		90	900円	¥81,000
AD継手管	100A	125A	100x125		120	1,200円	¥144,000
AD継手管	100A	150A	100x150		40	1,200円	¥48,000
耐火継手 OT	75A	75A	75A		240	240円	¥57,600
耐火継手 OT	100A	100A	100A		480	480円	¥230,400
耐火継手 ねじ型継手	75A	75A	75A		240	240円	¥57,600
耐火継手 ねじ型継手	100A	100A	100A		480	480円	¥230,400
耐火ブラAD付継手 OT	75A	75A	75A		240	240円	¥57,600
耐火ブラAD付継手 OT	100A	100A	100A		480	480円	¥230,400
耐火ブラAD付継手 DD	75A	75A	75A		240	240円	¥57,600
計							¥91,883,840
積上合計							¥2,817,840

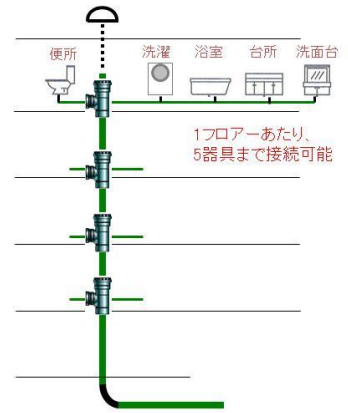
注: 本計算書は、耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手+AD継手管の材料集計結果を示します。管径の配管状況によっては計算結果が異なる場合がありますので、ご注意ください。また、本計算書は、耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手+AD継手管の材料集計結果を示します。管径の配管状況によっては計算結果が異なる場合がありますので、ご注意ください。また、本計算書は、耐火VPパイプ+耐火ブラADミニ継手+AD継手管の材料集計結果を示します。管径の配管状況によっては計算結果が異なる場合がありますので、ご注意ください。

※ 管径計算結果 および 材料集計表の表紙の日付はWEB画面から出力を行った時点の日付となります。

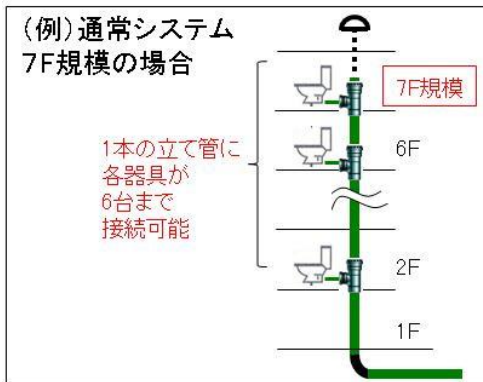
1. 入力方法に関する注意事項

- ①原則、1本の立て管に接続可能な器具数は1フロアあたり最大で台所、洗面、濯、浴槽、便器の5器具が各1台以内です。

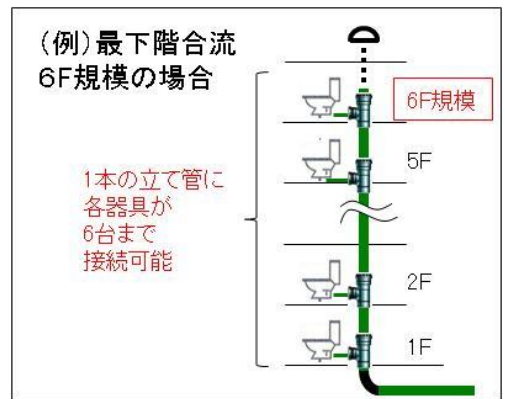
ただし、上記以外のパターンでもご使用いただける場合がありますので、実際に計算画面で入力して、適用の可否をご確認ください。



- ②通常システム(最下階住戸排水が立て管に合流しない)の場合は、各器具の種類ごとに、階数規模-1台分の器具数まで立て管に接続が可能です。
(例:7階規模の場合は6台まで接続可能)



- ③最下階合流システムの場合は、各器具の種類ごとに、階数規模分の器具数まで立て管に接続が可能です。
(例:6階規模の場合は6台まで接続可能)



- ④トイレに併設される手洗いが流入する場合は「トイレ手洗い」欄に入力してください。
※便器とトイレ手洗いは、プラADミニ継手の横枝2口に分割して流入させてください。



- ⑤洗面は各フロアで2台分まで1本の立て管に接続可能です。
(例:6階層の洗面が立て管に接続する場合は1本の立て管に12台分まで接続可能)

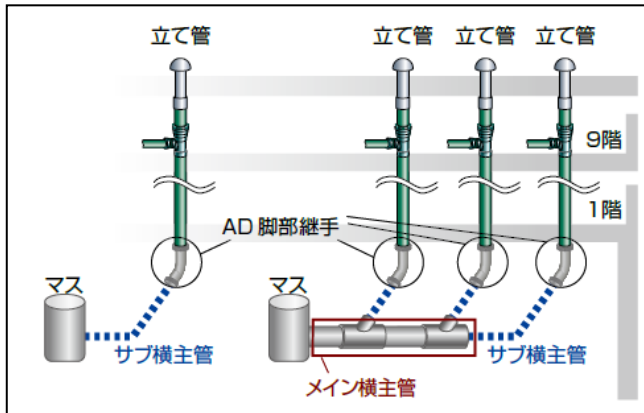
- ⑥計算結果で、「使用不可(流量オーバーです)」が表示された場合には、耐火プラADミニシステムは使用できませんので、弊社の他のシステム(耐火プラAD継手、ADスリム継手等)でご検討ください。詳しくは、弊社営業所までお問い合わせください。

立て管番号	接続される器具数(台)							立て管		サブ横主管
	便器	浴槽	洗面	洗濯	台所	スロップシング	手洗トイレ	管径	管径	
立1	9							FS*耐火プラADミニ継手 100A	125A	
立2		9	9	9				FS*耐火プラADミニ継手 100A	125A	
立3					9			FS*耐火プラADミニ継手 75A	100A	
立4	9	9	9	9				使用不可(流量オーバーです)	使用不可	
立5					9			FS*耐火プラADミニ継手 75A	100A	

2. 用語解説

●サブ横主管とメイン横主管の違いについて

- ・サブ横主管とは・・・ 各排水立て管の脚部以降の横引き管であり、複数の立て管からの横引き管が合流するまでの各横引き管を示します。
- ・メイン横主管 とは・・・ 複数の立て管からの横引き管が合流したところ以降の横引き管を示します。



3. その他 注意事項

- ・排水計算でお使いになった図面類については、別途保管してください。
また、検討条件や図面番号等は画面のメモ欄に記入し、控えとしてご活用ください。
- ・材料集計表の金額は概算金額を示しています。
耐火プラADミニ継手の仕様(品番)確定後に、別途ご確認ください。
- ・耐火プラADミニ継手の枝仕様(横枝数と管径)については、部屋内の器具の接続状況に応じて別途ご選定ください。
- ・計算システムの仕様、操作説明書および出力物(管径計算結果、材料集計表)に記載されている内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・操作説明書およびWEB画面を弊社の許可なく複製することはその形態を問わず禁じます。
- ・ご不明な点は最寄りの弊社営業所までご連絡ください。